

教材紹介カード	教科等	生活単元学習
教材名	作って遊ぼう！ ペットボトルボーリング	部門 知的障害教育部門
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近なモノを使い、楽しいゲームができる事を学ぶ。</li> <li>・ゲームの勝敗を意識し、用具作成に自分なりの工夫を凝らす。</li> <li>・生徒それぞれがボーリングゲームの用具（ピン・ボール）を作成する中で、ゲームのモチベーションを高める。</li> </ul>	
写真		
指導内容 ・ 指導方法	<p>▽生徒を2チーム（各7～8人）に分け、それぞれのチーム毎でペットボトルをシールやテープで飾ったり、ビー玉を入れボーリングゲームのピンと、新聞紙とガムテープを使用しボーリング玉の用具を作成する。</p> <p>▽ピンの模様など工夫し強そうに見えるモノ、倒れないようにピンに工夫出来ているモノ、ピンを倒すための玉として工夫している部分を紹介する。</p> <p>▼実際に2チームに分かれ、相手の作ったピンを自分が作ったボールで倒すゲーム開始。</p> <p>▼ゲームの勝敗として倒したピンの数でチームの勝敗を決める。また、最後まで倒れなかったピンの作成者と工夫の良さを紹介する。</p>	
特徴 ・ 留意点	<p>《特徴》・生徒達が経験したことのある「ボーリングゲーム」の用具を、自分たちの手で作成し、勝利を目指しての工夫を自分たちで考えオリジナルなピンとボールを使ってゲームを楽しめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲームは繰り返し取り組む中で、自分たちの作った用具を使いやすく修正したり新たに作り直したりしながら、ゲーム内容をさらに良いもの発展させる。</li> </ul> <p>《留意点》・短時間で用具作成とゲームを楽しむまでを行えるよう、用具作成に必要な材料の用意や見本を準備しておく。</p>	
材料・製作 上 のポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ピンの材料となるペットボトルの大きさ・カタチは選べるように何種類も用意しておく。</li> <li>・ボール作りは、新聞紙を丸めるのが難しかったり玉を転がす事が課題になる生徒は、カラーボールをシールやテープでデコレーションするだけにし、玉の転がりやすさを確保する。</li> <li>・衛生面に配慮し、ペットボトルは中身の洗浄・外側は除菌シートで拭く。ペットボトルキャップも除菌シートで拭きとり、開閉しないように教員がビニールペーパーを貼る。</li> </ul>	